

名古屋鑄造工組合趣意書

名古屋の鑄造職工諸君

お互に協同して一つの組合を作つて扶け合ふではありませんか
 今迄私達の間に何一つ協同の機關を持つて居りませんでした、同じ市に住み、同じ仕事に従事し、大多数は同じ工場に働いて居る私達が今迄たつた一つの社交機關さへ作らな
 いでまる切り赤の他人のやうにして暮らして来たこと云々事は、むしろ不思議な氣さへする
 ではありませんか、若しも私達の間に一つの組合または何かの會合があつて時々適宜如
 集會して仕事の上の問題についてお互に研究し、意見を交換したりするならば、ど
 れ丈け都合が好く利益を増すか計り知る事が出来ません、進んでお互個人の生活に就て
 も相談し合たり助け合ふたりする事が出来れば、お互の生活をどれ丈幸福にし樂しくす
 る事が出来るか分らない位だと思ひます、諺にも「遠い親類より近い隣り」と申します
 が、まして同じ階級に属し同じ職業に従事し、同じ工場に働き、お互に手となり足と成
 り扶け合はねばならぬ我々労働者ですもの、共に研究したり相談したり、助け合ねばな
 らぬ事はいくらでもある筈です

同志の人々よ、たとへば三十人が五十人の少数でも宜いから之から一つの組合を作つて折
 折々會合を開き、進んでは知識技能の向上徳性の修養に努め、またお互の生活の改善に
 協力して行かうではありませんか、私達お互の大きな幸福である事は勿論延いては産業
 の眞實の發達にも好き貢献と成り、大にして國家、社會に對しても正しき忠誠を盡すこ
 と、成るであらうと思ひます組合として、どんな規約を作り、どんな仕事をやるかは、
 少なく共會員數相當に達するを待つて總會を開き決定した方がよいと思ひますが、我々
 發起人としては少なくとも、次のやうな事だけは是非實行したいと希望して居ります。

- 一、組合員の生活状態及労働状態の調査並にその維持改善の爲の協力
- 一、組合員の知識的及人格的修養に資するための圖書雜誌の共同買入、廻覽、並に講演會、談話會等の開催。
- 一、組合員の親睦を計る爲の社交會茶話會の開催。
- 一、組合員間に於ける負傷疾病、失業、老廢等の相互的救済。

尙此の他にも諸君の御希望に依り幾多の事業がありましょが唯之だけを實行しても随分
 有益な事と思ひます。

賛成の諸君は次の欄に住所氏名を記入して下さい。
 第一回發起人會に於て發會式は十一月 日と決定致しました
 發會式に於て主義綱領規約等を附議し役員も當日互選します
 當分假事務所を左記の處に設けます

名古屋市中區西新町二ノ九三宅内
 大正十一年十一月
 名古屋鑄造工組合發起人連名 (いろは順)
 春村重朗 丹羽豊吉 大森惣次 大平政吉 冠城岩太郎 笠井竹治 河合萬次郎
 粕川桂作 竹内佐十 野田建一 山口義種 後藤甚左工門 秋田倉太郎 宮崎鶴雄
 水谷光太郎 三宅幸太郎 清水金之助 疋田二三 鈴木恒義 杉山清九郎

會員申請書

氏名	現住所	原籍地	生年月日
貴組合の趣旨に賛成し入會申請いたします			
年 月 日 右申込者			
名古屋鑄造工組合御中			